

高知県感染症発生動向調査（月報）

2023年7月

高知県感染症情報センター

高知県衛生環境研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>

E-mail: 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第27週(7月3日～)から第30週(～7月30日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における上位6疾患の合計は111.08で6月の4週間換算値85.83と比べて増加した。過去10年間の同時期としては2カ月連続で最多となった。新型コロナウイルス感染症は、5月8日から感染症法の2類疾患から5類疾患に変更され定点報告の疾患となった。図1に2022年10月24日以降に全国の定点医療機関から報告された患者数を示す。第18週以降は増加の一途をたどっており、第9波に突入している。この新型コロナウイルス感染症が、最も多く報告された感染症であり、増加の主因だった。また、初夏の感染症であるヘルパンギーナが増加し、インフルエンザが再び増加に転じた。

1位は新型コロナウイルス感染症で50.00(6月1位4週換算値22.90)と増加した。2位はヘルパンギーナで3.23(同3位17.31)と増加した。3位は感染性胃腸炎で14.38(同2位22.64)と減少し、4位はRSウイルス感染症で

11.38(同4位11.19)と横ばいであった。5位はインフルエンザで6.65(同6位5.30)と再び増加した。6位はA群溶血性レンサ球菌で5.44(同5位6.48)と減少した。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	週	27週	28週	29週	30週	計
1	新型コロナウイルス感染症		9.14	11.04	13.91	15.91	50.00
2	ヘルパンギーナ		7.32	6.86	4.71	4.34	23.23
3	感染性胃腸炎		4.13	3.90	3.09	3.26	14.38
4	RSウイルス感染症		3.38	3.16	2.59	2.25	11.38
5	インフルエンザ		1.66	1.76	1.59	1.64	6.65
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.53	1.45	1.14	1.32	5.44

県内情報

1. 全国との対比(定点当たり報告数)

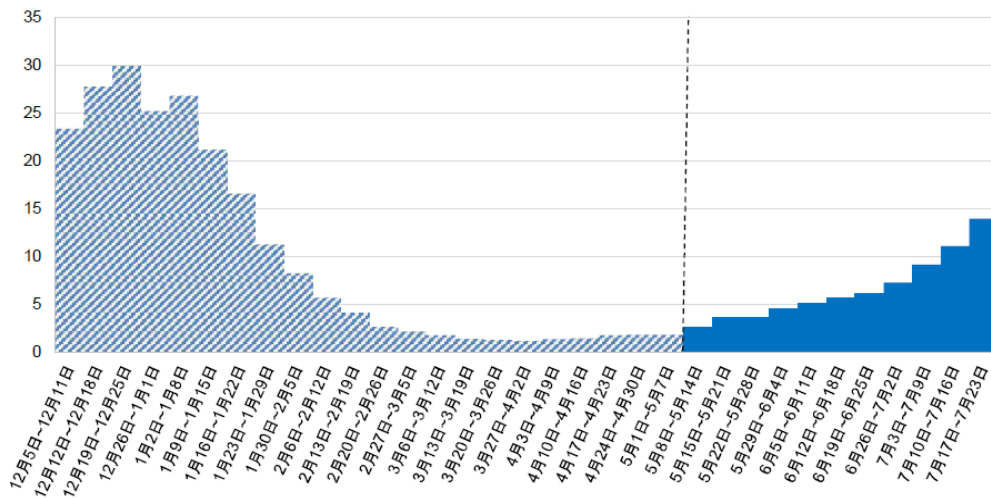
上位6疾患の報告数の合計は99.20(6月の4週間換算値49.24)と倍増したが、全国よりも少なかった(表2)。増加の原因は新型コロナウイルスの増加とRSウイルス感染症、ヘルパンギーナと手足口病の増加である。7月としては、過去10年間で最も多かった。

高知県における7月の上位6疾患は次のとおりである。1位は新型コロナウイルス感染症で62.58(6月1位、4週換算値が16.14)と増加し(図2)、全国よりも多かった。2位はRSウイルス感染症で12.77(同5位5.26)と増加し全国よりも多かった。3位は感染性胃腸炎で8.51(同2位10.00)と減少し全国よりも少なかった。4位はヘルパンギーナで7.96(同4位5.66)、5位は手足口病で4.07(同10位0.53)とともに増加したが全国よりも少なかった。6位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で3.31(同6位3.84)と減少し全国よりも少なかった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

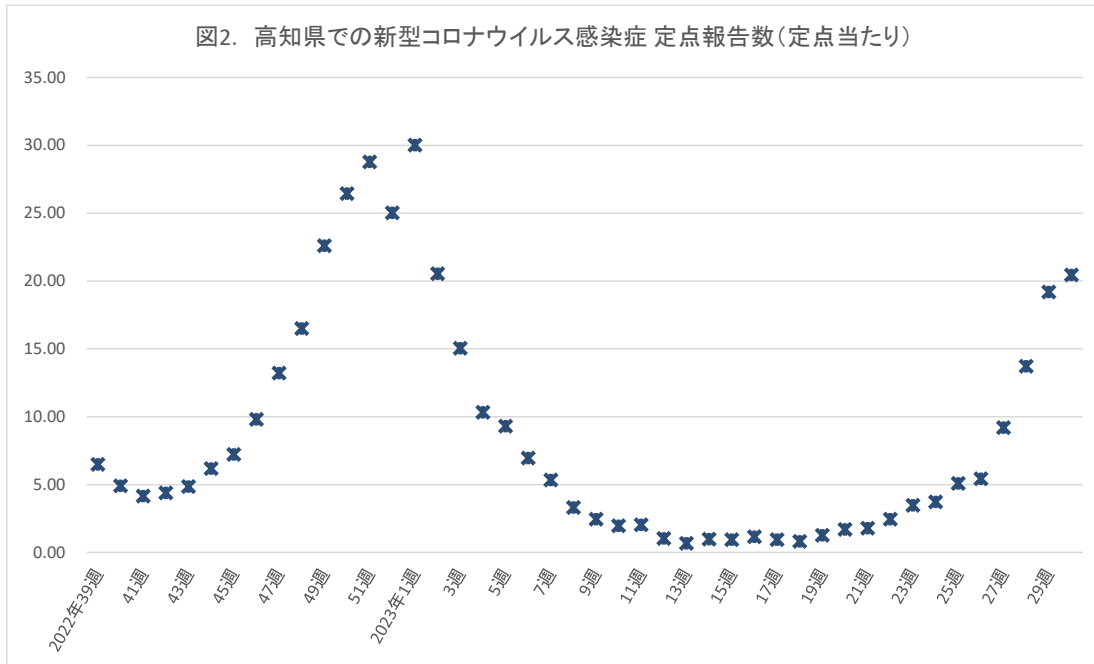
No	疾病名	週	27週	28週	29週	30週	計
1	新型コロナウイルス感染症		9.20	13.73	19.20	20.45	62.58
2	RSウイルス感染症		2.27	3.35	3.19	3.96	12.77
3	感染性胃腸炎		2.58	2.04	2.08	1.81	8.51
4	ヘルパンギーナ		2.23	2.42	1.81	1.50	7.96
5	手足口病		0.46	0.88	1.23	1.50	4.07
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.27	1.31	0.46	0.27	3.31

図1. 新型コロナウイルス感染症定点当たり報告数(全国) 推移



※5月7日以前の数値は、HER-SYSデータに基づく定点医療機関からの患者数(参考値)
一部の都道府県については、都道府県の集計に基づく。

図2. 高知県での新型コロナウイルス感染症 定点報告数(定点当たり)



2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。4月28日に茨城県から、5月12日に東京都から、麻しん患者が発生した。疫学調査により、東京都の患者は茨城県の患者との接触歴（同じ公共交通機関を利用）が確認された。これと相まって、第24週までに麻しん患者合計14名が報告されている。流行が危惧されており、定期ワクチン接種の徹底が肝要である。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 123名 (6月 458名)。季節外れの流行持続であり、同時期としては過去10年で最多だった。統計が存在する1998年以降で初めて、2020/21と2021/22シーズンは流行がなく、2022/23シーズンは3年ぶりの流行となった。今季の流行規模は大きくはないが、だらだらと続くことが特徴で、6月に再増加し、7月になっても流行が収束していない。県下全域から報告されており、中央西、安芸、高知市がとくに多かった。AH3 NTウイルスが1件検出された。今季検出された35件は全てAH3 NTであった。

2) 新型コロナウイルス感染症

報告数 2,754名 (6月 888名)。パンデミック当初は医療機関から全数が報告されていたが、2022年9月26日から軽症患者については患者本人による自己申告制となった。2023年5月8日から5類疾患に変更され、全数報告をやめて、定点医療機関からの報告にかわった。図2は2022年39週(10月)～2023年5月7日までを後方視的に、5月8日以降は前方視的に、定点医療機関からの報告数を集計したものである。2022年末に患者数のピークをみとめたが、2023年の年始以降は減少した。4月以降は横ばいとなっていたが、第21週以降は増加し昨年末以来の大きなピークが出来上がりつつある。

都道府県別でも本県は多い方に属している。定点当たり報告数は高知県が62.58で、東京都36.3、大阪府46.31を上回っており、医療逼迫が叫ばれる沖縄県が113.52であった。県下全域から報告があり、中央西、高知市、須崎でとくに多かった。

2月20日以降には県下でウイルス株の検討はなされていない。東京ではオミクロン株の亜型 XBB1.16が流行の主流となっている。

3) 咽頭結膜熱

報告数 16名 (6月 62名)。7月は減少して、同時期として過去10年間で最少だった。須崎、幡多、高知市、中央東から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

4) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 86名 (6月 125名)。平年並の報告数である。中央西以外の県下全域から報告され、高知市、幡多、須崎がとくに多かった。細菌は検出されていない。

5) 感染性胃腸炎

報告数 221名 (6月 325名)。同時期として少な目で推移している。須崎以外の全域から報告され、高知市と幡多がとくに多かった。病原体は、5月にAstrovirusが1件検出されたが、6月と7月は検出されていない。

6) 水痘

報告数 19名 (6月 22名)。少ない数で推移しておりワクチン定期化の効果と思われる。須崎、高知市、安芸、中央東から報告があり表記の順に多かった。

7) 手足口病

報告数 106名 (6月 17名)。例年は5-6月に流行が始まるが、2022年は遅れて8月に流行が始まり、小規模の流行が今年の夏までだらだらと続いていた。それがおさまりきらないうちに新たな流行が7月に始まった。安芸以外の全県で報告され、中央西でとくに多かった。手足口病の患者からCoxsackievirus A6 3件、Enterovirus 71が2件、Coxsackievirus A4が1件検出された。Coxsackievirus A6は1月以降に計8件検出されており流行株である。これに加えて、Enterovirus 71の流行が重なって起きる可能性がある。Enterovirus 71は脳幹部脳炎の原因となるので注意が必要である。

8) 伝染性紅斑

報告数 1名 (6月 0名)。2020年9月以降は一桁の報告数が続いている。

9) 突発性発疹

報告数 25名 (6月 38名)。想定内の変動である。

10) ヘルパンギーナ

報告数 207名（6月 184名）。2022年は8月から流行が始まり、過去10年間で最も小さな流行だった。本年は3月からの流行で、例年よりも早く始まってゆっくと増加し中規模の流行となった。都道府県別の定点報告数の比較で、高知県は沖縄県に次いで2番目に少なかった。県下全域から報告があり、高知市、中央東、中央西、須崎からとくに多く報告された。今季ヘルパンギーナの患者からCoxsackievirus A2が累計で2件検出されていたが、7月はその他の診断の患者からCoxsackievirus A2が1件、A9が3件検出されており、両者もしくはいずれかが流行株と推測される。

11) 流行性耳下腺炎

報告数 4名（6月 6名）。2020年5月以降は一桁の少ない数字で推移している。高知市から3名、須崎から1名が報告された。

12) RSウイルス感染症

報告数 332名（6月 171名）。新型コロナ流行中の2021年は夏の大流行となり、10月に終息した。2022年は、7月から流行が始まり前年に比べると緩やかに増加し、11月に減少に転じたが流行が終息せず、30～50名台で推移していたが、6月、7月と大きく増加した。中央西以外から報告があり、高知市、中央東、須崎がとくに多かった。ウイルスは検出されていない。

13) 流行性角結膜炎

報告数 2名（6月 0名）。2019年以降は一桁の報告数で推移している。高知市から2名の報告があった。

14) 細菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（6月 1名）。従来は年間10名前後の報告数で推移していたが、2017年6名、2018年5名、2019年2名、2020年4名、2021年6名、2022年6名、2023年4名と少数で推移している。

15) 無菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 4名（6月 1名）。従来は年間20～30名台の報告数で推移していたが、2017年7名、2018年1名、2019年5名、2020年2名、2021年も3名、2022年は1名と少なかった。2023年は6月に中央東から1例目（70歳以上）が報告され、7月は、中央東から3名、高知市から1名（年齢内訳は20代前半が1名、70歳以上が3名）が報告され増加の兆しであろうか。病原体は検出されていない。

16) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 4名（6月 3名）。高知市から4名が報告された。

基幹定点の月報疾患

17) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 21名（6月 20名）。大きな変動はない。中央東と高知市から報告された。

18) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名（6月 1名）。2015年以降は、年間0～2名の報告にとどまっている。本年はすでに2例報告されている。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患（令和5年7月）

類型	病名	報告月							総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
2	結核	3	4	5	3	6	5	4	30
3	腸管出血性大腸菌感染症							1	1
4	サル痘			1					1
	重症熱性血小板減少症候群	1	1	1	2	1	1	2	9
	日本紅斑熱				4	2	1		7
	レジオネラ症						2		2
5	アメーバ赤痢	1							1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1		1	1	1	5
	後天性免疫不全症候群				1				1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1		1	1		4
	侵襲性肺炎球菌感染症	1		5		1			7
	水痘（入院例に限る）	1							1
	播種性クリプトコッカス症			1				1	2
	梅毒	5	3	5	9	8	5	5	40
	破傷風						1		1
	百日咳					2	1	2	5
総計		14	8	20	19	22	18	16	117

高知県感染症情報 月報(61定点医療機関)

2023年

7月

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・COVID-19	インフルエンザ	13	8	42	55	3	2	123	458	
	新型コロナウイルス感染症	148	413	1,077	404	292	420	2,754	888	
小児科	咽頭結膜熱		2	6		3	5	16	62	51
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	3	56		6	20	86	125	20
	感染性胃腸炎	4	39	118	2		58	221	325	190
	水痘	1	2	9		7		19	22	20
	手足口病		14	38	40	13	1	106	17	9
	伝染性紅斑			1				1		2
	突発性発疹		4	13	1	2	5	25	38	45
	ヘルパンギーナ	1	40	138	10	10	8	207	184	19
	流行性耳下腺炎			3		1		4	6	2
	RSウイルス感染症	7	90	197		24	14	332	171	80
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			2				2		4
STD	性器クラミジア感染症			4				4	4	3
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ		1					1	1	1
	淋菌感染症								1	
基幹	細菌性髄膜炎								1	
	無菌性髄膜炎		3	1				4	1	
	マイコプラズマ肺炎			4				4	3	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る)									
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		4	17				21	20	21
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								1	
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計	175	623	1,726	512	361	533	3,930	2,328	467	
前月	136	384	1,008	215	163	422				
前年同月	9	111	225	27	19	76				
小児科定点数	2	6	9	2	2	5				

高知県感染症情報 月報(61定点医療機関)

2023年

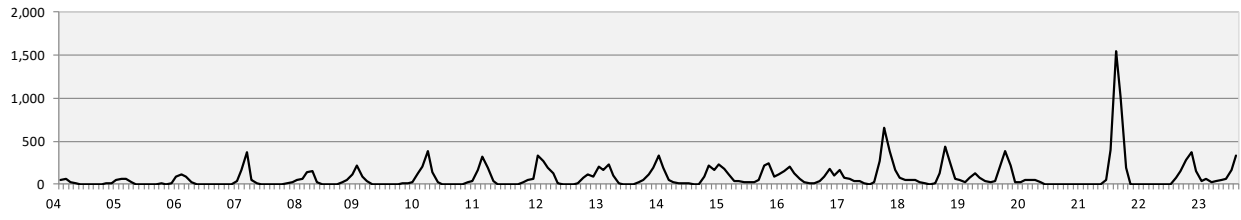
7月

定点当たりの人数

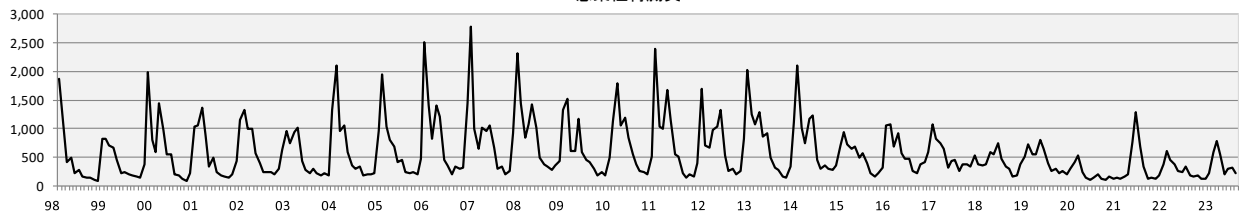
定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・COVID-19	インフルエンザ	3.25	0.80	3.01	13.75	0.75	0.26	2.79	10.41	
	新型コロナウイルス感染症	37.00	41.30	76.93	101.00	73.00	52.51	62.58	20.18	
小児科	咽頭結膜熱		0.34	0.66		1.50	1.00	0.62	2.38	1.82
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.50	6.22		3.00	4.00	3.31	4.80	0.71
	感染性胃腸炎	2.00	6.50	13.11	1.00		11.60	8.51	12.50	6.79
	水痘	0.50	0.34	0.99		3.50		0.73	0.85	0.71
	手足口病		2.33	4.23	20.00	6.50	0.20	4.07	0.66	0.33
	伝染性紅斑			0.11				0.04		0.08
	突発性発疹		0.67	1.44	0.50	1.00	1.00	0.96	1.47	1.62
	ヘルパンギーナ	0.50	6.67	15.34	5.00	5.00	1.60	7.96	7.08	0.68
	流行性耳下腺炎			0.33		0.50		0.16	0.24	0.08
	RSウイルス感染症	3.50	15.00	21.89		12.00	2.80	12.77	6.58	2.86
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			2.00				0.66		1.34
STD	性器クラミジア感染症			2.00				0.67	0.67	0.50
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ		0.50					0.17	0.17	0.17
	淋菌感染症								0.17	
基幹	細菌性髄膜炎								0.13	
	無菌性髄膜炎		3.00	0.20				0.51	0.13	
	マイコプラズマ肺炎			0.80				0.51	0.39	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)									
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		4.00	3.40				2.63	2.50	2.63
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								0.13	
薬剤耐性緑膿菌感染症										
小児科定点分計		47.25	74.45	144.26	141.25	106.75	74.97	104.50	67.15	15.68
前月		40.25	46.07	88.73	65.25	55.25	69.94			
前年同月		4.00	15.55	22.19	8.97	9.50	15.00			

注目される疾患別月別推移

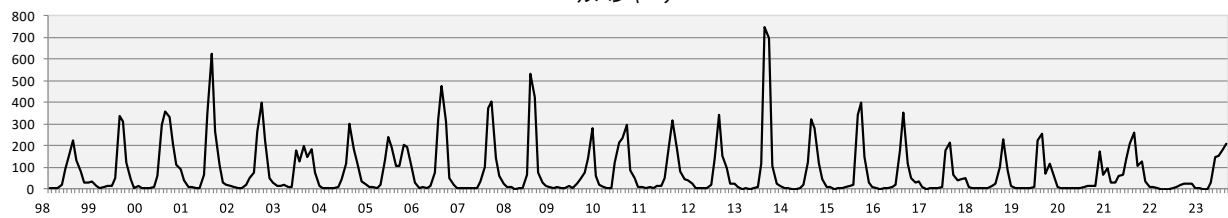
RSウイルス感染症



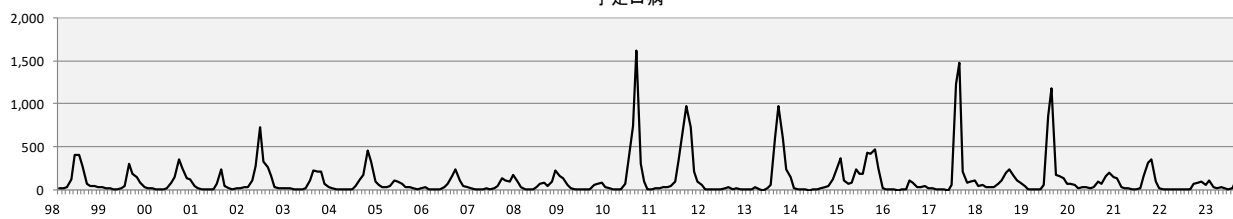
感染性胃腸炎



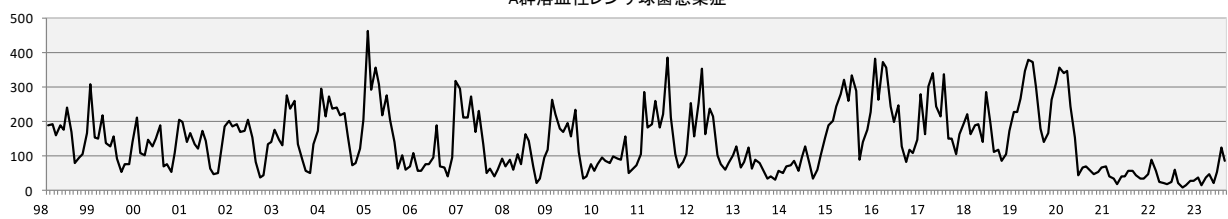
ヘルパンギーナ



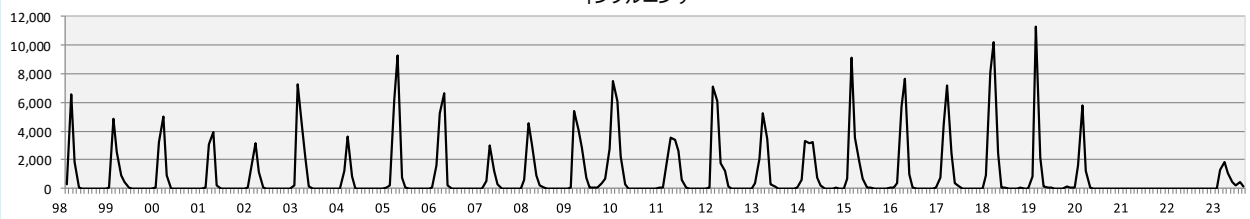
手足口病



A群溶血性レンサ球菌感染症



インフルエンザ



高知県感染症情報（月報）

2023年7月

検査情報

ウイルス、細菌の分離状況

令和5年7月はウイルス34件の搬入があり、そのうちウイルス18件の病原体を検出した。検出ウイルスの内訳は、Coxsackievirus A2 1件、Coxsackievirus A4 1件、Coxsackievirus A6 3件、Coxsackievirus A9 3件、Cytomegalovirus 1件、Enterovirus 71 2件、Human herpes virus 6 2件、Human herpes virus 7 2件、Influenza virus A H3 NT 1件、Rhinovirus 2件であった。

ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	3	女	-	嘔吐,	ぬぐい液	6/28	Rhinovirus
2	11	女	インフルエンザ	40℃,	ぬぐい液	6/29	Influenza virus A H3 NT
3	3	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	7/2	Human herpes virus 6
4	1	男	不明発疹症	38℃,発疹,	ぬぐい液	7/3	Human herpes virus 6
5	1	男	手足口病	下痢,発疹,	ぬぐい液	7/3	Enterovirus 71
6	2	男	不明発疹症	39℃,発疹,	ぬぐい液	7/10	Coxsackievirus A9
7	4	女	不明発疹症	39℃,咳嗽,発疹,	ぬぐい液	7/12	Coxsackievirus A2
8	2	男	手足口病	39℃,咳嗽,発疹,	ぬぐい液	7/13	Coxsackievirus A6
9	1	男	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	7/14	Coxsackievirus A9
10	2	女	不明発疹症	39℃,咳嗽,発疹,	ぬぐい液	7/18	Coxsackievirus A9 Human herpes virus 7
11	2	男	手足口病	39℃,発疹,	ぬぐい液	7/19	Coxsackievirus A6
12	2	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	7/19	Enterovirus 71 Rhinovirus
13	2	男	手足口病	39℃,下痢,嘔吐,発疹,	ぬぐい液	7/22	Coxsackievirus A4
14	2	男	手足口病	39℃,発疹,	ぬぐい液	7/24	Coxsackievirus A6 Cytomegalovirus Human herpes virus 7

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2023年							2023年 総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
インフルエンザ	Influenza virus A H3 NT	10	6	9	5	1	3	1	35
	Coxsackievirus A2					1			1
	計	10	6	9	5	2	3	1	36
感染性胃腸炎	Adenovirus 6				1				1
	Adenovirus 41		1						1
	Astrovirus NT					1			1
	Norovirus GII NT	3	11						14
	計	3	12		1	1			17
水痘	Human herpes virus 6				1				1
	計				1				1
手足口病	Coxsackievirus A4							1	1
	Coxsackievirus A6	1		3	1			3	8
	Cytomegalovirus							1	1
	Enterovirus71							2	2
	Herpes simplex virus 1				1				1
	Human herpes virus 6							1	1
	Human herpes virus 7		1		1			1	3
	Rhinovirus				1			1	2
	計	1	1	3	4			10	19
伝染性紅斑	Epstein-Barr virus			1					1
	Human herpes virus 6					1			1
	計			1		1			2
ヘルパンギーナ	Adenovirus 2					1	1		2
	Coxsackievirus A2				1	1			2
	Coxsackievirus A6				1				1
	Cytomegalovirus				1				1
	Rhinovirus				1		1		2
	計				4	2	2		8
その他	Adenovirus 1			1					1
	Adenovirus 2						2		2
	Adenovirus 5					1			1
	Adenovirus 41	1				2			3
	Coxsackievirus A2				3			1	4
	Coxsackievirus A6			1	1				2
	Coxsackievirus A9						1	3	4
	Coxsackievirus B5			1					1
	Cytomegalovirus				1	2			3
	Human herpes virus 6			3	1	1	1	1	7
	Human herpes virus 7		1	2		1	1	1	6
	Influenza virus A H3 NT	1							1
	Norovirus GII NT	2	1	1					4
	Parainfluenza virus 3					2			2
	Respiratory syncytial virus A								0
	Respiratory syncytial virus B		1						1
	Rhinovirus		1	1	1	3	1	1	8
Rotavirus group A G3					1			1	
計	4	4	10	7	13	6	7	51	
総計		18	23	23	22	19	11	18	134

類型	病名	報告年																						総計				
		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020		2021	2022	2023	
2	結核									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	30	1,978	
	計									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	30	1,978	
3	コレラ	1						1					1														3	
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2											2							27	
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9	1		3	1	211	
	腸チフス			1						1								1				1					4	
	バラチフス	2																									2	
	計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	3	1	247	
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1			3					3	1			2					34	
	E型肝炎												1		1								1				6	
	オウム病			1			1														1						3	
	Q熱	1	1	2				1																			5	
	サル痘																										1	
	重症熱性血小板減少症候群																3	11	3	7	5	5	9	6	4	8	9	70
	つが虫病			9	5	2	4	5	7	6	2	5	4	2	5	8	3	3	4	11	2	3	3	1	5		99	
	デング熱												1			3	2	1				2					9	
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	23	16	12	7	230	
	日本脳炎	1	1	1						1		1	1														6	
	マラリア									2												1					4	
	レジオネラ症		2			1		1			9	7	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	8	8	8	2	99	
	レプトスピラ症											1		4	2	1						1					9	
	計	20	21	26	12	23	21	19	16	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	41	29	34	19	575	
5	アメーバ赤痢																	7	3	2	5	3	3				54	
	ウイルス性肝炎	11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3				1			2	1	1	2	2	2		64	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																7	19	21	22	21	20	10	5	12	5	142	
	急性弛緩性麻痺																					1	2				3	
	急性脳炎									1	1	2	5	1	3	1		1	1	1	1	2	1	1	2		24	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	4		4	3	3		6		1	3				2			2	1	1	3				36	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	1	1				1		1		1	3		1		3	5	6	2	2	5	4		37	
	後天性免疫不全症候群	2		2		2	4	2	3	6	3	3	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	6		6	1	88	
	ジアルジア症		1	2	1								1	1	1						1						8	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症																1	5	3	4	7	3	1	1	3	4	32	
	侵襲性肺炎球菌感染症																1	4	12	16	18	14	22	11	9	6	7	120
	水痘（入院例に限る）																	2	1	1	3		3	3	3	1	17	
	髄膜炎菌性髄膜炎											1															1	
	梅毒																											1
	播種性クリプトコックス症	2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	35	96	51	40	418	
	破傷風			3	2	2	1		1	1	2	3	1	1	1	1		4	3	3	1		2	3	1	3	1	40
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1							1						1			1	1					5	
	百日咳																					173	172	35	3	9	5	397
	風しん											1	1				4	9	1								19	
	麻疹												5									3					5	
	計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	112	127	111	67	1,525	
新型	新型インフルエンザ																										34	
	新型コロナウイルス感染症																											34
	計																											34
動物	鳥インフルエンザ																											1
	計																											1
	総計	61	48	67	42	51	53	47	61	189	198	258	201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	877	3,726	136,013	30,387	174,590	